

市長のあまねくつぶやき

〈十年今昔〉市制施行10周年を迎えて

昨年、行方市文化会館にてサッカーワールドカップブラジル大会の予選リーグ初戦、日本対コートジボワール戦のパブリックビューイングを行いました。惜しくも1対2で負けてしまい、その後の第2戦、第3戦も勝利することができず、0勝2敗1分で決勝トーナメントに行くことができませんでした。「たれば」という表現方法がありますが、あのととき勝っていればと思うくらい残念な結果でした。

今月から2018年サッカーワールドカップロシア大会のアジア2次予選が始まり、日本代表の新たな戦いが開始されます。一方、プロ野球では、イチロー選手やダルビッシュ有投手、田中将大投手がメジャーリーグで活躍をしています。10年前の2005年にワールドベースボールクラシックという国別対抗による野球大会の開催が発表され、翌年3月に16カ国・地域が参加して大会が行われました。当時のソフトバンクホークスの監督を務めていた王貞治さんが日本代表監督として指揮をとり、日本は第1回大会の優勝国となりました。今では馴染みになってきた日本のプロ野球セ・パ交流戦も10年前に開始され、パ・リーグの球団が8度優勝して、セ・リーグの球団を圧倒しています。

5月27日(水)に「チャレンジデー」というスポーツイベントが行われ、多くの市民に参加していただきました。この

チャレンジデーとは、毎年5月の最終水曜日に世界中で実施されている住民参加型のスポーツイベントで、人口規模がほぼ同じ自治体同士が午前0時から午後9時までの間に15分以上継続して何らかの運動やスポーツをした住民の参加率(%)を競い合います。行方市では、年齢や性別を問わず誰もが気軽に参加でき、体力や健康づくり、運動を始めるためのきっかけづくりやスポーツの振興になればと、このイベントに参加しています。近年は、この時期に運動会やスポーツイベントを行うことが多くなってきました。「スポーツの秋」ならぬ「スポーツの初夏」と呼ばれるようになるかもしれません。

行方市長 鈴木周也



市長へのEメール
投稿用2次元コード



市政に対する意見や
提案をメールでお寄せ
ください。

はい、こちら行方市消費生活センター！



「給付金」と偽った“ニセ電話詐欺”にご注意!!

新年度を迎え、「給付金」と偽った“ニセ電話詐欺”が全国で多発しています。手口として、自宅などに電話があり、市から給付金を支給するため銀行やATMに行くよう指示されます。そして、支給のための必要な手続きだと言われ、ATMを操作しているうちに犯人の口座に振り込んでしまい、被害に遭うというものです。支給のために市が指示してATMの操作をお願いすることは絶対にありません。相手から来た電話は、その場で回答せず一旦切り、必ず自分から公的機関の連絡先に問い合わせ、事実確認をするようにしましょう。

こういった“ニセ電話詐欺”の昨年1年間の被害額は、県内の把握しているものだけで約14億円のほりまです。手口はさまざま、より巧妙になっており、本物かどうか判断が難しいケースも少なくありません。

身に覚えのない請求や、期限を迫る請求、不審な請求については家族や友人、消費生活センターなど第三者に必ず相談し、自分だけで判断しないようにしましょう。

— まずはお電話を! —

【問い合わせ】行方市消費生活センター Tel 0291-34-6446